



平成31年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年12月10日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝  
 問合せ先責任者 上席執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5752)3897  
 経営管理グループ統括責任者  
 四半期報告書提出予定日 平成30年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年4月期第2四半期の連結業績(平成30年5月1日~平成30年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年4月期第2四半期	6,473	20.4	215	△5.8	214	△8.2	125	△36.8
30年4月期第2四半期	5,377	16.1	228	△17.7	233	△7.2	198	24.3

(注) 包括利益 31年4月期第2四半期 124百万円 (△38.0%) 30年4月期第2四半期 200百万円 (25.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年4月期第2四半期	19.75	19.75
30年4月期第2四半期	33.30	32.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年4月期第2四半期	6,259	3,550	55.8
30年4月期	6,076	3,116	50.7

(参考) 自己資本 31年4月期第2四半期 3,493百万円 30年4月期 3,081百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年4月期	—	—	—	9.00	9.00
31年4月期	—	—	—	—	—
31年4月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年4月期の連結業績予想(平成30年5月1日~平成31年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,620	16.6	742	14.6	746	14.4	471	4.8	73.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規2社(社名) BEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE.LTD.、BEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN.BHD.

除外1社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年4月期2Q	6,376,000株	30年4月期	6,218,000株
31年4月期2Q	482株	30年4月期	482株
31年4月期2Q	6,362,121株	30年4月期2Q	5,975,556株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善からの個人消費の増加を背景として、景気は緩やかな回復基調を維持しました。また世界経済においても、全体として緩やかな成長を維持したものの、新興国の経済悪化の懸念や、各国の貿易政策等の通商問題といった不安定要素もあり、先行きは不透明な状態にあります。

美容業界におきましても、顧客単価の下落や来店頻度の減少といった厳しい事象が続いており、結果として低価格店の登場や専門店への細分化、フリーランスの増加等、ビューティサロンの経営環境も変化してきており、生き残りをかけた店舗間競争が激化してきております。

そのような状況下、当社グループではかねてより開発を行ってまいりました、ECサイトのフルリニューアルと新基幹システム（ERP）の導入を平成30年5月に実施いたしました。

また同7月にBEAUTY GARAGE SINGAPORE PTE. LTD.、同8月にはBEAUTY GARAGE MALAYSIA SDN. BHD.における営業を開始いたしました。更には台湾千冠莉有限公司のM&Aによる子会社化を決定し、グローバル市場における販路拡大に向けた施策を推進いたしました。一方国内においては、同9月に美容サロンに特化したM&A仲介サービス「サロンM&Aネット」のスタートや、美容師や美容室経営者の為のビジネスメディア「BeaUTOPIA（ビュートピア）」を開発するなど、美容業界内のニーズに応えるべく新規サービス等も立ち上げました。また、最新版通販カタログ誌「BG STYLE」3種も発刊し、業容拡大に向けた積極的な投資とプロモーション活動を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,473,251千円（前年同期比20.4%増）、売上総利益は1,994,456千円（前年同期比14.6%増）、営業利益は215,719千円（前年同期比5.8%減）、経常利益は214,275千円（前年同期比8.2%減）となりました。当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は125,678千円（前年同期比36.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①物販事業

物販事業においては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、全国の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン向けに提供しております。

累計登録会員総数は364,464口座（前年同期比11.0%増）、アクティブユーザ数（過去1年間で1回以上購入したユーザ数）は102,523口座（前年同期比8.0%増）、ロイヤルユーザ数（過去1年間で6回以上購入したユーザ数）は26,462口座（前年同期比20.5%増）となり、リピート顧客の増加が顕著となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、成長カテゴリーである化粧品・材料の受注を拡大するべく、プライスリーダーシップ戦略で市場シェア獲得に注力してまいりました。その結果として売上高は順調に伸びましたが、その一方でPB機器の販売が伸び悩んだことや為替相場が円安傾向に推移したことの影響もあり、売上総利益率が低下する結果となりました。また新ECサイトに対する投資費用が嵩んだことに加え、通販カタログ3種の発刊費用や、海外拠点（シンガポール、マレーシア、台湾）における営業体制構築のための投資が先行する時期となりました。なお、新基幹システム（ERP）の導入に合わせて全社費用の範囲の見直しを行った結果、物販事業に帰属する営業費用が増加しております。

この結果、当事業の売上高は4,995,007千円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は197,153千円（前年同期比36.4%減）となりました。

#### ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・福岡・大阪・名古屋において店舗設計・工事施工監理を提供しております。

これまでトレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計デザインの提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ておりましたが、ビューティガレッジグループとしての連携強化によってチェーン店本部からの受注や大型店舗からの受注が増加したことに加えて、WEBサイト上の施工事例集の拡充やWEB広告の拡大等の積極的な営業活動の成果もあり、当事業の売上高は1,274,328千円（前年同期比7.8%増）、セグメント利益は60,638千円（前年同期比6.7%減）となりました。

③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュースサービス、居抜き物件仲介サービス、集客支援サービス、保険サービス、システム導入支援サービス、店舗リース等の各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市のショールームを通して提供しております。

当該事業は、単体での収益化以上に当社グループの主力事業である物販事業や店舗設計事業への入口、繋ぎ役としての役割に重きを置くようになっております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、店舗リース事業が大きく伸長したことに加え、居抜き物件仲介事業、保険サービスが堅調に推移し、当事業の売上高は203,914千円（前年同期比85.8%増）、セグメント利益は20,847千円（前年同期は6,629千円の損失）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、4,971,451千円となりました。これは、主に現金預金及び棚卸資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.7%増加し、1,288,006千円となりました。これは、有形固定資産、無形固定資産及び投資その他の資産の増加によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.5%減少し、2,384,949千円となりました。これは、主に仕入債務及び短期借入金の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて8.1%減少し、323,617千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて13.9%増加し、3,550,891千円となりました。これは、主に新株予約権行使による資本金及び資本準備金の増加があったことと、配当金の支払に伴い利益剰余金の減少55,957千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加125,678千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月14日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,607,648	1,752,354
受取手形及び売掛金	1,139,389	976,516
商品及び製品	1,449,812	1,650,843
仕掛品	99,578	171,849
その他	585,754	434,938
貸倒引当金	△24,657	△15,050
流動資産合計	4,857,526	4,971,451
固定資産		
有形固定資産	244,505	260,248
無形固定資産		
のれん	122,683	166,585
ソフトウェア	36,447	332,974
ソフトウェア仮勘定	311,367	300
その他	755	755
無形固定資産合計	471,253	500,614
投資その他の資産	502,909	527,142
固定資産合計	1,218,668	1,288,006
資産合計	6,076,194	6,259,458
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,053,865	721,729
短期借入金	143,334	63,336
1年内返済予定の長期借入金	178,933	136,649
未払法人税等	156,519	122,126
賞与引当金	36,145	154,175
製品保証引当金	5,832	4,843
受注損失引当金	11,241	8,236
株主優待引当金	3,240	1,620
役員退職慰労引当金	75,000	75,000
その他	943,179	1,097,232
流動負債合計	2,607,290	2,384,949
固定負債		
長期借入金	174,226	136,326
ポイント引当金	59,049	67,543
資産除去債務	44,018	44,092
退職給付に係る負債	17,342	8,362
その他	57,694	67,293
固定負債合計	352,331	323,617
負債合計	2,959,622	2,708,566
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	593,232	768,385
資本剰余金	543,999	714,596
利益剰余金	1,944,551	2,014,272
自己株式	△351	△351
株主資本合計	3,081,432	3,496,902
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	-	△3,757
その他の包括利益累計額合計	-	△3,757
新株予約権	1,903	1,028
非支配株主持分	33,236	56,718
純資産合計	3,116,572	3,550,891
負債純資産合計	6,076,194	6,259,458

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
売上高	5,377,375	6,473,251
売上原価	3,636,329	4,478,794
売上総利益	1,741,046	1,994,456
販売費及び一般管理費	1,512,155	1,778,736
営業利益	228,891	215,719
営業外収益		
受取利息及び配当金	47	19
受取手数料	471	538
為替差益	4,276	-
その他	1,023	946
営業外収益合計	5,819	1,504
営業外費用		
支払利息	467	1,050
為替差損	-	600
障害者雇用納付金	640	360
その他	65	937
営業外費用合計	1,172	2,948
経常利益	233,538	214,275
特別利益		
新株予約権戻入益	236	-
固定資産売却益	-	89
特別利益合計	236	89
特別損失		
和解金	489	-
特別損失合計	489	-
税金等調整前四半期純利益	233,285	214,365
法人税、住民税及び事業税	70,109	105,076
法人税等調整額	△37,102	△18,804
法人税等合計	33,007	86,271
四半期純利益	200,277	128,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,292	2,415
親会社株主に帰属する四半期純利益	198,985	125,678

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
四半期純利益	200,277	128,094
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	-	△3,992
四半期包括利益	200,277	124,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198,985	121,921
非支配株主に係る四半期包括利益	1,292	2,180

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年5月1日 至平成30年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	233,285	214,365
減価償却費	25,033	59,650
のれん償却額	-	20,054
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,933	△9,606
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,632	8,493
製品保証引当金の増減額(△は減少)	6,257	△989
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△1,620	△1,620
その他の引当金の増減額(△は減少)	97,058	106,044
受取利息及び受取配当金	△47	△19
支払利息	467	1,050
有形固定資産除売却損益(△は益)	-	△89
売上債権の増減額(△は増加)	6,300	163,026
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119,282	△302,579
仕入債務の増減額(△は減少)	△109,176	△335,544
前渡金の増減額(△は増加)	△105,222	132,339
未払金の増減額(△は減少)	△34,879	△86,923
前受金の増減額(△は減少)	147,656	183,554
新株予約権戻入益	236	-
その他	△71,496	88,695
小計	74,268	239,902
利息及び配当金の受取額	47	19
利息及び保証料の支払額	△495	△1,013
和解金の支払額	△489	-
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△121,545	△135,123
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,212	103,784
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,832	△31,957
有形固定資産の売却による収入	-	90
無形固定資産の取得による支出	△61,732	△28,220
投資有価証券の取得による支出	-	△15,474
投資有価証券の売却による収入	1,000	-
敷金保証金の差入による支出	△25,701	△31,508
敷金保証金の回収による収入	13,886	16,698
その他	△286	△493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,666	△90,866
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	15,000	-
短期借入金の返済による支出	△24,996	△79,998
長期借入れによる収入	300,000	-
長期借入金の返済による支出	△96,858	△116,003
株式の発行による収入	-	349,430
非支配株主からの払込みによる収入	-	15,617
配当金の支払額	△41,679	△55,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	151,466	113,096
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,381	△1,955
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26,793	124,059
現金及び現金同等物の期首残高	1,144,323	1,607,648
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	20,646
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,117,529	1,752,354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使に伴い、資本金175,152千円、資本剰余金175,152千円がそれぞれ増加しております。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金768,385千円及び資本剰余金714,596千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年5月1日 至 平成29年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,086,037	1,181,587	109,750	5,377,375	-	5,377,375
セグメント間の内部売上高 又は振替高	191,960	31,043	31,910	254,913	△ 254,913	-
計	4,277,997	1,212,630	141,661	5,632,289	△ 254,913	5,377,375
セグメント利益	309,831	64,981	△ 6,629	368,184	△ 139,293	228,891

(注) 1. セグメント利益の調整額△139,293千円には、セグメント間取引消去14,038千円、未実現利益の調整額△2,126千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△151,205千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年5月1日 至 平成30年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,995,007	1,274,328	203,914	6,473,251	-	6,473,251
セグメント間の内部売上高 又は振替高	149,321	29,784	14,642	193,749	△193,749	-
計	5,144,329	1,304,113	218,557	6,667,000	△193,749	6,473,251
セグメント利益	197,153	60,638	20,847	278,639	△62,920	215,719

(注) 1. セグメント利益の調整額△62,920千円には、セグメント間取引消去25,353千円、未実現利益の調整額3,084千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△91,358千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しています。